



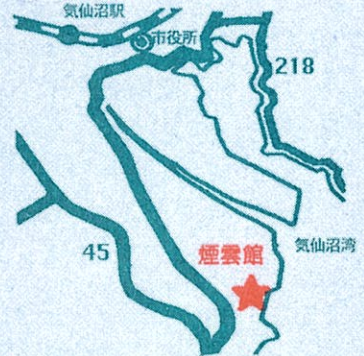
「恋人」
発祥の地！

煙雲館は、代々伊達家に御一家筆頭として仕えた鮎貝氏の居館です。宮城県を代表すると評されるほどの美しい庭園は江戸初期に作庭されました。築山を囲む清涼な池を中心とした回遊式の庭園です。気仙沼の名勝である岩井崎海岸と大島とを臨み、それらを借景*として壮大な景観が産み出されています。（*借景とは、庭園外の自然物などを庭園内の風景に背景として取り込み、ダイナミックな景観を作り上げる造園技法のひとつ。）
短歌の中に「恋人」という言葉を最初に入れて詠んだ歌人、落合直文の生家でもあります。

● 煙雲館への行き方 ●

JR 気仙沼駅から車で15分
三陸縦貫登米東ICより車で70分

住所 気仙沼市松崎片浜197
電話番号 0226-22-1318
見学時間 個人宅につき事前に電話でご連絡ください
定休日 個人宅につき事前に電話でご連絡ください



vol.1 詠う幸せ 煙雲館の旅

「恋人」は気仙沼発祥？！

「砂の上に わが恋人の名をかけば 波のよせきて かげもとどめず」
「恋人」という言葉を近代短歌史上最初に使ったとされているのがなんと気仙沼出身の国文学者、落合直文なのです！

今回は落合直文とそれにまつわる恋人スポット、煙雲館をご紹介します。

落合直文 (1861~1903)

十二代 鮎貝太郎平盛房の次男として出生。後に仙台中教院主・落合直亮の養子となり、伊勢神宮教院において国学、漢籍を学びました。皇典講究所、第一高等中学校、早稲田専門学校で国語学、国文学を講ずるとともに「日本文学全書」「ことばの泉」など多くの名著を上梓した、明治を代表する国文学者です。

煙雲館の庭園内には、落合直文の詠んだ「置くところ よろしきを得て おきおけば 皆おもしろし 庭の庭石」という歌の歌碑があります。

底上げYouth

宮城県気仙沼市で2012年9月に結成した、地元の高校生による有志団体で、現在は17人で活動しています。気仙沼のまちづくりを観光という切り口で考え、まちを盛り上げると同時に、参加した高校生自身が気仙沼の良さに気づき、地元をもっと好きになるような楽しい話し合いの場を作り活動を行っています。

今回ご紹介する煙雲館をはじめ、恋人にまつわる逸話や美しい景色など、実はたくさんの「恋人スポット」を持つ気仙沼のまち。「港と海産物のまち・気仙沼」という今までのイメージだけでなく「恋人のまち・気仙沼」という新しい側面を知ってもらいたい！という思いでご紹介してゆきます！そして新たな気仙沼の恋人スポット発掘中です！恋人スポットVol.2をお楽しみに！

〈協力〉気仙沼観光コンベンション協会 煙雲館 NPO法人底上げ

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン×さなぶりファンド こども☆はぐくみファンド支援事業
〈執筆・編集〉底上げYouth 〈挿絵〉小野寺 彬 〈デザイン〉海岸 真紀子

ヨミコイ
詠♡恋
〜鯉につられて雲に恋して〜

●「んーそうだなー気仙沼の美味しい魚はねー！」

●僕、小野寺煙男。気仙沼生まれで現在東京の大学に通っている。隣を歩くのは佐々木雲ちゃん。神奈川県生まれで僕と同じ大学に通っている。関東からわざわざ気仙沼まで、今日は三回目のデート。僕は今日雲ちゃんに告白すっぺど思っている！

●「わあここ綺麗ね！」

●あ、鯉だわー！」

●おととつ！」

●雲ちゃんそっちは、左回り。だよ！

●僕は煙雲館に来ていた。有名な日本庭園の池のまわりを、右回りに回ると二人の仲が永く続くなんて噂を小耳にはさんで、別に信じちゃいないけど、告白する場所が他に浮かばなくて来ちゃったワケ。

●「待ってよ雲ちゃん！そっちじゃなくて……」

●くう。鯉に負けるなんて俺様……。自分で案内してバッチリ告白しようと思ったのに……

●でも、雲ちゃんは鼻歌を歌って楽しそうに見えるし、牡蠣のように可愛い横顔も見れて満足だよ（照）

●「あら〜もしかして予約してた小野寺さん達？お茶っこでも飲んでいらい？」

●語り部さんは僕が電話でバッチリ予約しておいた。ふふふ。雲ちゃんには楽しんでもらわないとね！

●「そういえば、このジンクス知ってたの？池の周りを左回りに回ると『恋愛成就』右回りに回ると『二人の仲が永く続く』って言うジンクスがあんのっさー。」

●ふむふむ……って、うおおおっ！

●僕はさっき左回りに回っちゃったから『恋愛成就』だったのか！これから告白する僕にぴったりじゃないか！

●「借景」ってご存知？」

●「シャッケイ？」

●「借景って言うのはこの庭園の景色だけを見るものでなく目の前の太平洋の海も含めた景色を借景って言うてんのっさあ〜」

●「へえ〜素敵！見てみたいわ〜」語り部さんに別れを告げて、気付けば僕は雲ちゃんと一緒に日本庭園を右回りに回っていた。

●「おお、これが借景だね。」そこに広がっていたのは昔ながらの日本庭園と美しく壮大な海。

●少しの間、二人でその壮大な自然に見惚れていた。

●「あのさー、雲ちゃん」

●振り返った雲ちゃんを見つめながら僕は自分の想いを声に出した。



●顔を赤くした雲ちゃんと手を繋いで周り終えた時、鯉がピシャンツ！と跳ねた。

●くう。あの鯉に恋を叶えられた。なんてね。

佐々木 雲

6月12日(恋人の日)生まれのA型。
料理が趣味。
好きな食べ物はさくらんぼ。
赤面症。しばしば鼻歌を歌うが、即興なので子どもっぽくなってしまう。

小野寺 煙男

5月9日(告白の日)生まれのO型。
趣味はサッカー。好きな食べ物は雲ちゃんの手料理(になる予定)。
爽やかな笑顔は「秘殺キラースマイル」と呼ばれているが、本人は無自覚。



お電話でのお問い合わせ
NPO法人底上げ
0226-25-9670
底上げYouth
facebookページ→



●煙男 ●雲
●語り部さん